

2024 年度スローガン

積小為大

～変化を起こす先駆けとなれ～

2024 年度基本方針

1. ありふれた魅力を積み重ね、自分達の手で行うまちづくり
2. 思いやりと郷土愛を積み重ね、想いを形にする青少年育成
3. 決断と行動を積み重ね、誰もがリーダーとなる組織力強化

2024 年度理事長所信

第 58 代理事長 宇山 賢二

【はじめに】

私達安来青年会議所は、明るい豊かな社会の実現を目指して日々活動、運動を行っています。安来をより良いまちにするためにまちづくりを他人事ではなく自分事と考え率先して行動を起こす人を増やし、多くの方々に協力をいただきながらまちづくりを行ってきました。創立から 57 年間、先輩諸兄姉から受け継がれたこの想いを胸に時代の変化と共に運動の形も変化し続け発展を続けています。私も以前はまちづくりに無関心でしたが、入会してから気持ちに変化が起き、率先して行動を起こし多くの経験をさせていただきました。その行動が周囲により良い変化をもたらすことを実際に体験したことで、まちを変えたいという思いを持って行動すれば誰でも人を導くことができると考えるようになりました。

明るい豊かな社会の実現は容易にできることではありません。しかし目的に向かって一歩ずつ歩みを進め、その行動の結果を階段のように積み重ねていくことで実現へと近づけていきます。まずは私達はその先駆けとなり自らの意識と行動を変え、周囲、そしてまちへと変化を広げていけるよう今年度のスローガンを「積小為大～変化を起こす先駆けとなれ～」とさせていただきました。小を積み大と為す。誰もが率先して行動し、住み暮らす人々が笑顔にあふれ幸せを感じられる安来を目指し、安来青年会議所がそのきっかけとなるよう一年間高い志を持って運動を展開してまいります。

【ありふれた魅力を積み重ね、自分達の手で行うまちづくり】

安来は毎年約 600 人の人口が減少しています。中でも人口流出が問題であり、進学や就労等で安来を離れた人達がもう一度安来に帰りたい、自分達の手でふるさとをより良くしたいと思えるようにすることが課題です。安来に帰らない理由は都会の利便性や希望する職種等あると思いますが、安来で暮らす不便さ以上に魅力を感じ安来を愛する心を持てば帰

ってきたいと思えるはずです。

人によって感じる魅力は様々ですが、私は近所の方との心の近いコミュニケーション、周囲に広がる自然が魅力だと感じています。「いつもだんだんね」という挨拶、道路脇の草花から香る自然の匂いや夜空を見上げた時に見える満点の星空は私にとって素晴らしい魅力だと自信を持っています。周囲の人達との関係や広がる自然が素晴らしいことだと気付いていないだけで他の誰かにとっては輝いて見えています。それぞれに感じる魅力を共有し認め合うことで安来が素晴らしい魅力にあふれていると感じることができ、安来を愛しました帰りたい、自らの手で守りたいと思い行動へと移すことができます。

人々が自信を持って安来は素晴らしいまちだと言えるようになることで、まちは笑顔であふれ、訪れた人も魅力を感じて何度も足を運ぶようになり、一度安来を離れてもまた帰ってきたいと思うようになります。安来に住み暮らす人達が笑顔であふれ幸せを感じられるまちになるよう運動を展開してまいります。

【思いやりと郷土愛を積み重ね、想いを形にする青少年育成】

人は古くからコミュニティを大切にし、相手を思いやり互いに助け合う心を大切にしてきました。今の大人にもその心は受け継がれていますが、時間や心に余裕が無く他人に手を差し伸べたいと思っても自分のことで精一杯で他人に優しくすることができない、こどもに対して辛くあたってしまうことはないでしょうか。

こどもは親を見て育ちます。親が他人に優しくなれなければ今のこどもが大人になった時も同様に他人に優しくすることができません。他人のために行動することで感謝され、笑顔を見ることで得られる喜びを感じる経験を通じて、利他の心について改めて考えていただきます。そして私達大人が見本となり、こども達が互いを思いやり困っている人を見つけた時に当たり前のように手を差し伸べ助け合える大人へと成長できるよう導いてまいります。

また、継続して行っている「安来こども議会」ではこども達の声を行政に届け想いを少しずつではありますが実現へとつなげてきました。安来の未来を担うこども達の率直な想いを行政へ届け、まちの変化を積み重ねることで、想いを形にする安来となりこども達の郷土愛は深まります。そして今度はこども達が自らの手でまちをつくる喜びを感じ、率先してまちづくりに取り組み、さらに安来をより良いまちに発展させていくことができます。

こども達が人のため、まちのために率先して行動できる大人へと成長できるよう運動を展開してまいります。

【決断と行動を積み重ね、誰もがリーダーとなる組織力強化】

私達が仕事や地域で人々を導く存在となるためには自ら決断し行動に移す力が必要です。組織とはリーダーが方針を決めて一歩踏み出すことで周囲の人達がついていきますが、私達が率先してその一歩を踏み出すことで自らが組織を動かす人間となっていきます。そのためには経験と知識を持って一歩を踏み出すことが必要であり、経験は物事に積極的に取

り組むことで培われ、知識は過去を学ぶことで身につけることができます。過去の失敗や成功、なぜその決断をしたか等歴史を学び、知識を増やすことで自らの選択する決断に自信を持ち行動へと移すことができ、人々を導く存在へと成長していきます。

また、私達は様々な人と関わりながら運動を行っています。人の意識を変え、安来をより良くするため多くの人に参加できる事業や以前なかったような視点での事業も増えていきます。様々な考えを持つ人が安来青年会議所に集い、多様な事業を行うことで運動がさらに広まります。時にはぶつかりながら、考えの違いを受け入れながら時代に合わせて変化し、誰もが活躍できる安来青年会議所を作っていきます。そんな私達の運動に共感し自分も安来をより良くしたいと思う人が青年会議所の門をたたき、入会したメンバーもまた成長し、さらに魅力的な団体へとなっていきます。

そのためにまずは私達が決断し行動できる青年へと成長し、運動を広げてまいります。

【むすびに】

私は安来青年会議所で様々な活動・運動を通じて成長することができたと実感しています。これは一つひとつの物事に真剣に取り組み小さな変化を積み重ねた結果だと自信を持っています。

青年会議所はメンバーに成長の機会を提供する組織ですが、その機会をつかみ取れるかは自分次第です。40歳で青年会議所は卒業となってしまいますが、その短い期間に訪れる機会をつかみ取り、安来のため、子ども達のために一年間青年会議所運動に邁進してまいります。そして安来青年会議所が安来の人々と共に「安来を良くしよう」と思い率先して行動に移し、豊かな社会の実現に向けて覚悟をもって走り抜けることをお誓い申し上げ、理事長所信と代えさせていただきます。